

内科後期研修医（新内科専門研修プログラム）の募集について

当院は、基幹病院として「市立豊中病院内科専門研修プログラム」を申請しました。申請プログラムから抜粋した骨子をご紹介します。なお、申請プログラムは、一次審査を通過したものであり、まだ二次審査を踏まえて修正・変更があることをご承知おきください。

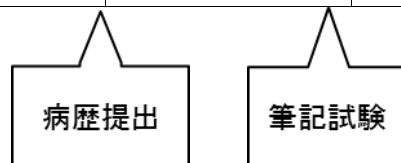
http://www.naika.or.jp/jsim_wp/wp-content/uploads/2017/08/279801504.pdf

募集数：1 学年 9 名とします（一次審査段階）。

研修スケジュール：1 年目は基幹施設である市立豊中病院内科で専門研修（専攻医）を、2 年目は連携施設での研修を行います。3 年目には市立豊中病院内科で Subspecialty を含めた専門研修を行います。希望があれば内科研修当初 2 年間の適切な時期から内科研修と Subspecialty 研修の並行研修 (Subspecialty 重点研修) の開始を考慮します。

市立豊中病院内科専門医研修プログラム（概念図）

	卒後 1 年目	卒後 2 年目	卒後 3 年目	卒後 4 年目	卒後 5 年目	Subspecialty
医師 国家 試験 合格	初期臨床研修		内科専門研修 (Subspecialty 研修)	内科専門研修 (Subspecialty 研修)	内科専門研修 / Subspecialty 研修	消化器内科
			市立豊中病院	連携施設	市立豊中病院	循環器内科
						腎臓内科
						神経内科
						血液内科
						糖尿病・内分泌 内科



連携施設：

市立池田病院	http://www.hosp.ikeda.osaka.jp/
箕面市立病院	https://minoh-hp.jp/
市立吹田市民病院	http://www.city.suita.osaka.jp/hospital
大阪大学附属病院	http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/
国立病院機構刀根山病院	http://www.toneyama-hosp.jp/
市立川西病院	http://www.kawanishi-hospital.jp/

基幹病院の概要：

・内科の診療科グループは消化器内科、循環器内科、内分泌代謝内科、腎臓内科、呼吸器内科、神経内科、血液内科の7グループで構成されます。総合内科疾患、アレルギー、膠原病、感染症、救急疾患の入院・外来患者は7つのグループで横断的に診療を担当しています。すべての領域で外来患者診療を含め、1学年9名に対し十分な症例を経験することが可能です。

市立豊中病院専門領域別診療実績（2014年度）

	入院患者実数 (人/年)	外来延患者数 (延人数/年)
消化器内科	2,287	40,693
循環器内科	732	16,843
神経内科	454	8,591
内分泌内科	51	51,151
代謝内科	248	
腎臓内科	203	
呼吸器内科	611	
血液内科	448	
総合内科	309	
アレルギー	75	
膠原病	42	
感染症	397	
救急	294	
合計	6,151	

- ・新専門医制度上の内科領域指導医は 25 名在籍しています。
- ・内科系関連 13 領域のうち膠原病、感染症、老年医学分野を除く 10 領域で学会認定専門医が少なくとも 1 名以上在籍しています。

日本内科学会指導医 25 名、日本内科学会総合内科専門医 14 名

日本消化器病学会消化器専門医 7 名、

日本循環器学会循環器専門医 4 名、

日本糖尿病学会専門医 3 名、

日本内分泌学会専門医 1 名、

日本腎臓病学会専門医 2 名、

日本呼吸器学会呼吸器専門医 2 名、

日本血液学会血液専門医 4 名、

日本神経学会神経内科専門医 4 名、

日本アレルギー学会専門医（内科）1 名

- ・内科系専門領域の認定施設として以下の教育・研修病院の指定を受けています。

日本内科学会認定医制度教育病院

日本消化器病学会認定施設

日本肝臓学会認定施設

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

日本呼吸器学会認定施設

日本血液学会認定血液研修施設

日本腎臓学会研修施設

日本神経学会専門医制度教育施設

日本糖尿病学会認定教育施設

日本内分泌学会認定教育施設

日本救急医学会救急科専門医指定施設

日本高血圧学会専門医認定施設

日本脳卒中学会研修教育施設

日本透析医学会専門医制度認定施設

日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設

日本消化器内視鏡学会指導施設

日本臨床腫瘍学会認定研修施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設 など

・内科系診療グループの特徴

[血液内科] <http://www.chp.toyonaka.osaka.jp/outpatient/naika/ketsueki.html>

1) 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	モーニングカンファ後、病棟診療				
午後			部長回診		
夕方		内科医会	血液内科カンファレンス		

午後からは、骨髄検査・輸血などの処置があります。

2) 血液内科の特徴

- * 血液疾患の症例が豊富で、良性・悪性の血液疾患をほぼ経験可能です。
- * 完全無菌室2床、準無菌室6床を備える、日本血液学会専門医研修施設です。
- * 悪性リンパ腫・多発性骨髄腫の適応症例に、自己末梢血幹細胞移植を施行しています。
- * 外来化学療法にも積極的に対応しています。
- * 血液内科カンファレンスには、看護師・臨床検査部技師（血液・輸血担当者）など他職種からも参加してもらっています。

[呼吸器内科] <http://www.chp.toyonaka.osaka.jp/outpatient/naika/kokyu.html>

1) 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前		気管支鏡			気管支鏡
午後	合同カンファ (外科)			呼吸器カンファ	

2) 呼吸器内科の特徴

- * 症例数が多く、疾患も多岐にわたっている。
- * 救急指定病院であり、緊急入院が多い。
- * 重症の呼吸不全患者は麻酔科と連携し、ICU管理で治療を行っている。
- * 呼吸器外科とは週に1回合同カンファを行っており、肺癌、自然気胸など手術適応症例がスムーズに外科へ転科できるシステムが構築されている。
- * 肺癌に関しては、呼吸器外科以外にも脳神経外科・放射線科と連携し、集学的治療が行われている。
- * 気管支鏡は年間170例以上施行している。
- * 日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会の認定施設であり、認定医取得のための資格が得られる。

1) 週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		上部消化管内視鏡検査・治療	腹部超音波検査	上部消化管内視鏡検査・治療	上部消化管内視鏡検査・治療
午後	下部消化管内視鏡検査・治療	肝生検・ラジオ波焼灼療法	ERCP・下部消化管内視鏡検査・治療		ERCP・下部消化管内視鏡検査・治療
	消化器内科・外科・放射線科合同症例検討会	内科系合同症例検討会・CPCなど	内視鏡病理検討会／抄読会など	消化器内科症例検討会	

2) 消化器内科の特徴

- * 消化管内視鏡検査および内視鏡下治療に積極的に取り組み、症例数は非常に多い。大腸ポリープのEMRをはじめ、食道癌・胃癌・大腸癌に対するESDも多数例施行している。
- * 救急患者が多く、消化管出血に対する緊急内視鏡検査や内視鏡下止血術の症例数が豊富である。
- * 胆膵疾患に対するERCPを多数例行い、緊急胆道ドレナージやステント療法も行なっている。EUS-FNAにも積極的に取り組んでいる。
- * 肝疾患領域では、各種肝炎治療や肝癌に対するRFAを行なっている。
- * 消化器癌に対する化学療法にも力を入れている。
- * 外科・放射線科との連携も強く、共同でカンファランスを行なっている。
- * 阪大病院を中心とした多施設共同臨床研究や当科独自の臨床研究に取り組んでいる。
- * 学会発表、国際学会発表、論文発表を多数行なっている。

[神経内科] <http://www.chp.toyonaka.osaka.jp/outpatient/shinkeinaika/index.html>

1) 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	電気生理検査	電気生理検査			
午後	脳血管撮影			部長回診 神経内科カンファ	
夕方		内科系医会	脳卒中カンファ	神経放射線カンファ	

毎朝 SCU カンファレンスあり、週 1～2 回、神経内科救急当番（時間内）

2) 神経内科の特徴

- * 神経内科領域全般（急性神経疾患、神経難病、免疫関連疾患、てんかん、頭痛など）の幅広い疾患が経験できる。
- * 脳卒中センター（神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科）がある。
- * SCU 当直があり、脳卒中超急性期（t-PA、脳血管内治療）も経験できる。
- * 神経内科専門医に加えて、subspeciality（脳卒中、電気生理、頭痛、リハビリテーション、ボトックス治療など）の専門医師がおり、指導が充実している。
- * 大阪大学神経内科を中心に多施設とも連携し、勉強会、情報交換会を行っている。

[腎臓内科] <http://www.chp.toyonaka.osaka.jp/outpatient/naika/jinzou.html>

1) 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	人工透析/透 析カンファ ランス		人工透析		人工透析
午後			腎生検/病棟 回診・カンフ ァランス		

2) 腎臓内科の特徴

- * 慢性腎炎の診断・治療から、保存期腎不全の管理、透析導入まで腎疾患の長い経過の診療に携わることができる。（人工透析室の運用・CAPD 外来も行っている）
- * 当院の特徴として common disease が多いが、それに伴う腎障害を診る機会も多い。
- * 最新の知見に基づいた新しい治療法も積極的に取り入れている（耳鼻科と共同で IgA 腎症に対する扁桃摘出＋ステロイドパルス療法、多発性のう胞腎に対するトルバプタン投与など）。
- * 維持血液透析は行っていないが、他院での維持血液透析患者の併発症で入院した場合の管理を行う機会が多い。

[循環器内科] <http://www.chp.toyonaka.osaka.jp/outpatient/junkankika/index.html>

1) 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	心カテ・心リハ	心カテ・心リハ	心カテ	心カテ・心リハ 心筋シンチ	心リハ・運動 負荷検査
午後	心カテ	心カテ	心カテ		冠動脈CT
夕方	入院患者カンファ	内科医会	カテ症例検討会・ 抄読会（心臓血管 外科と合同）		

朝夕にCCUカンファレンスあり

2) 循環器内科の特徴

- * 心臓病センターとして循環器内科・心臓血管外科が協同して診療していること。診療科間や多職種
の連携が確立されておりスムーズな診療が行える。
- * 地域の基幹病院として24時間循環器救急を引き受けており、きわめて多くの循環器救急疾患の初療
を経験できる。
- * 研修医に対するマンツーマン指導体制が充実しており、循環器専門医、総合内科専門医としての基
礎的な力を身につけることができる。
- * カテーテル検査・治療件数が豊富で専門的なスキルを身につけることができる。
- * 昨今の高齢化社会に対応した心臓リハビリテーションや多職種での心疾患マネジメントにも力を入
れており、種々の疾患の複合した病態を総合的に診療できる。

[内分泌代謝内科] <http://www.chp.toyonaka.osaka.jp/outpatient/naika/index.html>

1) 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	負荷試験	負荷試験	負荷試験	負荷試験	負荷試験
	病棟 糖尿病専門 外来	病棟 糖尿病専門 外来	病棟 糖尿病専門 外来	病棟 糖尿病専門 外来	病棟 糖尿病専門 外来
午後	糖尿病専門 外来		透析予防外来		糖尿病専門 外来
			糖尿病教室	専門回診	

2) 内分泌代謝内科の特徴

- * 急性期病院である当院には、糖尿病ケトアシドーシス、高血糖高浸透圧症候群の急性代謝失調症例が多い（毎年 15 例以上）。
- * 甲状腺クリーゼ、副腎クリーゼ、高 Ca クリーゼなど、内分泌救急も多い。
- * ハイリスク分娩例が豊富で、妊娠糖尿病や糖尿病合併妊婦を管理する機会が多い。
- * 糖尿病教育入院患者は毎年 200 例近くあり、各種病型・病態・病期の糖尿病症例を経験し、患者教育やチーム医療を実践できる。
- * インスリンポンプ（CSII）、持続血糖測定器（CGM）、両者を組み合わせた Sensor Augmented Pump（SAP）など先端機器を用いる治療を積極的に導入している。
- * 新規発症のバセドウ病や亜急性甲状腺炎など甲状腺疾患の紹介例が多く、治療開始時から患者を診療できる。
- * 褐色細胞腫、原発性アルドステロン症、クッシング症候群などの副腎・下垂体疾患症例を、診断から治療まで院内で完結して経験できる。
- * リサーチマインド育成に力を入れており、例年数編の学術論文が受理されている。内科学会、糖尿病学会、内分泌学会、関連学会など各学会に毎年演題を発表している。また、大阪大学関連病院の内分泌代謝専門医と専攻医が集うクリニカルカンファレンス（OEMCC や月曜会）で症例発表を行い、他施設との連携と情報交換を行っている。

連携病院の概要：

	病院	病床数	内科系 病床数	内科系 診療科 数	内科指 導医数	総合内 科専門 医数	内科剖 検数
連携施設	市立池田病院	364	184	8	19	10	10
連携施設	箕面市立病院	317	150	4	12	7	11
連携施設	市立吹田市民病院	431	164	7	15	10	12
連携施設	大阪大学附属病院	1086	326	9	108	50	13
連携施設	刀根山病院	500	440	3	13	5	14
連携施設	市立川西病院	250	106	1	8	6	10